

週刊「観光経済新聞」創刊75周年記念
論文コンテストの入賞作品を、10月6日
号から順次掲載しています。

創刊75周年記念論文コンテスト優秀賞

序論

1. 1. はじめに：個人的な体験から
の問題提起
子どもの頃、湾岸戦争下で泣き叫ぶ
子供たちの映像をテレビで見たとき、
私は大きなショックを受けた。自分と
変わらない年齢の子供が、ある日突然
家を壊され、家族を奪われ、自らの命
を危険にさらされている。この紛争
が、今まさに同じ地球上で起きている
という事実が、私は言葉で失った。そ
のとき、幼心に「この世界の課題を解
決し、子供たちが笑顔になれる世界を
作りたい」と強く願った。

あれから30年以上が経った今も、世
界の状況は本質的に変わっていない。
グローバル化が進み、情報は瞬時に世
界を駆け巡る。遠い国で起きている今
日の出来事が、世界中の一人ひとりの
手元に届くのだ。物理的にも感情的に
も世界は近づいた。生活自体は進化した
が、人類自体が進化しておらず、国
家間の対立や民族紛争はいまだ後を絶
たない。2022年のロシアによるウ
クライナ侵攻、2023年のイスラエ
ル・ハマス紛争、2024年のイン
・ハスエール間の軍事衝突など、現代
においても「争い」は問題解決の手段
として選択され続けている。カザ地区
では紛争開始以降の死者が6万人を超
え、その約3割が子供である。イスラ
ム組織ハマス運営の保健当局が発表し
た。

こうした現実に対し、多くの人々は
無力感を覚え、あるいは自国の課題を
優先するあまり、世界の出来事から目
を背けがちになる。「誰かが何とかし
てくれるだろう」「自分にはどうする
こともできない」。私自身、長年そう
考えてきた一人である。

しかし、観光業に深く携わる中で、
その考えは転換点を迎えた。きっかけ
は、1967年に国連が提唱した「観
光は平和へのパスポート」という言葉
との出会いである。平和の維持には、
軍勢力や経済力というハードパワーに
よる抑止だけでなく、私たち一人ひと
りが実践できる人的交流、すなわちソ
フトパワーが不可欠である。そして、
このソフトパワーは、目に見えない紛争
だけでなく、水面下で燃える不信や憎悪
の連鎖という「紛争の火種」そのものを
消し去る力を持つ。これは、単に戦
争がない状態（消極的平和）に留まら
ず、貧困や差別といった構造的暴力を
取り除き、公正な社会を積極的に構築
していく「積極的平和」の考え方の
ものである。この考えに、私は一条の
光を見出した。

本稿は、この個人的な問題意識から
出発し、「旅」や「観光」という世界
のミクロな実践が、いかにして「世界
平和」というマクロな理想の実現に貢
献しているのか、そのメカニズムに可
能性、そして日本の観光業が担うべき役
割について論じるものである。

1. 2. 日本の観光業が掲げるべき
大義
本稿の観光業は、国内旅行において
は自動車産業に次ぐ規模へと成長し、
訪日客数はUN Tourism(世界
観光機関)の発表によれば、202
3年に世界12位となった。日本が掲げ

る2030年に6000万人の訪日客
が実現すれば、世界3位となる。急成
長真っ只中の観光業界は、日本の基幹
産業として確実にその階段を登り始め
ていることは間違いない。一方でその
社会的評価は経済規模に追いついてい
ない側面がある。それは、観光業が古
くから存在する産業であり、最先端の
イノベーション事業とは見なされてい
くからなのかもしれない。

第1章：観光業が真の基幹産業となる

日本は、観光業が真の基幹産業となる
ために、経済的規模以上の「大義」
が必要である。優れた企業が、目先の
利益追求ではなく、社会への貢献とい
うビジョンを掲げること、顧客だけ
でなく社会全体から応援されるよう
に、観光業もまた、業界の利益を超え
た社会貢献を提示する必要がある。そ
の大義こそが「旅は世界を平和にする」
である。

平和と相互理解に基づく協調関係
は、ごく一部の例外を除き、あらゆる
産業の活動基盤となる。世界は長きに
わたり、軍勢力による抑止、つまり
「恐れ」と「不信」を前提とした安全
保障に莫大投資を続けてきた。本稿
はそれとは異なるアプローチとして、
観光がもたらす交流と相互理解とい
うソフトパワーによる安全保障の構築を
提言する。このビジョンで、日本の
観光業が世界に示すべき新たな価値
であり、本稿が探求する中心の主題で
ある。

1. 3. 100年先を見据えたジ
ョン：なぜ「平和」を掲げるのか
観光業が「世界平和」を掲げること
は、単なる理想論ではない。それは、
100年先を見据えた、極めて実践的
な生存戦略であり、成長戦略でもある。
観光ビジネスが持続的に発展するには、
世界の旅行マーケットが安定的に
維持・拡大し続けることが絶対条件で
ある。

しかし、このマーケットは極めて脆
弱だ。1991年の湾岸戦争時、世界
的な情勢不安はマーケットに旅行マ
インドを冷やませ、マーケットは急激に縮
小した。この歴史的教訓は、観光は
平和でなければ成り立たない産業であ
り、という厳然たる事実を我々に突き
つける。

マーケットの未来は、平和と安定の
先にこそ開かれる。現在、世界の人口
の大多数は、経済的な理由などからま
だ国際的な旅行を経験していない。こ
れらの潜在的な旅行者がマーケットに
参加すれば、その規模は現在の数十倍
にも成長するポテンシャルを秘めてい
る。

ここに、日本の観光業が果たすべき
役割がある。観光先進国として、国内
の多様な成功事例をモデルとして、し
て、経済的利益の追求を超えた「平和
の創造」という大きなビジョンを世界
に提示する。それこそが、日本の観光
業が世界を牽引し、100年後も輝き
続けるための道筋なのである。

1. 4. 論文の構成
本稿の構成を提示する。第一章では、
旅がもたらす異文化理解とソフトオ
ウの克服について論じる。第二章で
は、観光という経済活動がもたらす相
互依存関係と平和構築への貢献を考察

旅は世界を平和にするか

—日本の観光業が作るべき未来—

上村 早苗氏



【著者略歴】1981年生。20
04年3月神戸学院大学法学部国際
関係法学科卒業。2005年4月田
尾不動産入社。2009年12月淡路
島観光ホテル入社。2021年3月
同社代表取締役就任。

第2章：経済的相互依存の構築と平和の貢献

1. 1. ステレオタイプの解体
旅は、私たちが無意識に抱えている
他者への先入観や偏見を揺るがす力
を持っている。メディアや教育、家庭内
の会話などから形成されるステレオ
タイプは、異文化や他国の人々に対
する一面的なイメージを固定化させ
る。しかし、実際にその土地を訪れ、
現地の人々と会話を交わし、生活の一
端に触れることで、こうしたメー
ジは次第に揺らいでいく。思っていた

報のみでは得がたいものである、人間
として自らが五感で感じ理解した事
実である。その事実をうねらせるの
は、人それぞれでかまわない。最も恐
れるべきは、無関心であり、痛みや
喜びを持つ一人の人間として世界の事
実を認識すること、世界の課題に
対して考え始める重要なきっかけとな
る。

この「五感体験」は、歴史認識にお
いても決定的な役割を果たす。広島
の平和記念資料館、アズウヰツツ
ビルケナウ強制収容所、あるいはカン
ボジアのキリング・フィールド。これ
らの場所を訪れるダークツーリス
ムは、単に悲劇的な歴史を学ぶ行為で
はない。日本も戦後80年を迎えても、
なお多くの人の死は日本の歴史と現代
に生きる私たちの間に、深い影を落
ち続けている。このようにして、このよ
うな結果を抱くプロセスを経るのか。

経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

1. 3. ミニニケーションの重要
性
真の異文化理解は、双方のコミュニ
ケーションなしには成り立たない。
観光の現場では、言語の壁や文化の違
いに直面することも多いが、それでも
何とか相手に想いを伝えようとするプ
ロセス自体に価値がある。たとえ言葉
が通じなくても、笑顔や身振りの手振
り、視線の温かさが心を通わせること
もある。こうした「伝えよう」とする姿勢
が相互理解を深める土壌を育てる。ま
た、観光客が受け入れ側のコミュニ
ケーションは、時に誤解や衝突を生む
こともあるが、それまた学びの機会
である。重要なのは、相手の文化や背
景を「知っている」と意識し、対話
を通じて関係性を築いていく意志で

ある。旅先の会話の一つひとつが、民
間やがて国境を越えた信頼関係の種とな
り、距離を越え強い絆で結ばれた
関係が構築される。世の中の課題の多
くは、「コミュニケーション不足」に
よるものである。国家間でも同じこ
の大小に関わらず、国家間でも同じこ
とがいえるものと考えている。交流は
人を成長させる。世界中が旅を通じて
人の交流を促され、人類全体が大きく
成長し、「争い」とは違った選択肢に
よって課題を解決できるようになるは
ずである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

第3章：観光業が平和と安定に貢献する

1. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

第4章：観光業が平和と安定に貢献する

1. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

第5章：観光業が平和と安定に貢献する

1. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を表明するべきである。

2. 2. 観光による経済的相互依存
の構築
経済的な相互依存は、戦争を回避す
るための有効な手段である。国際政治
学でも繰り返し論じられてきた。観光
業は、まさにこの相互依存関係を草の
根レベルで築き、産業である。旅行者は
滞在先で宿泊し、その地域らしい食事
を楽しむ。その地域を訪れた証として、
地域らしいモノを買う。その支出は、
現地の事業者や労働者の収入となり、
地域経済に貢献する。観光庁の分析に
よれば、観光業の経済波及効果は全産
業平均の約1.4倍に達し、宿泊業や
飲食業だけでなく、小売業や運輸業
さらには農林水産業にまで広く恩恵を
もたらしている。こうした事実を、たと
えば、ある観光地が外国人旅行者の人
気を集めるようにすれば、その国の経済
は他の安定と発展に直接的な関心を
持つようになる。国家間の関係が一部
冷や冷えでも、民間レベルでの観光交
流が継続していれば、完全な断絶には
至っていない。このように観光は、
軍事的な抑止とは異なる形で、国家や
地域間に、切っても切れない関係性
を築き、平和を維持しているのだ。国家
で最も影響力のある首相や大統領が、
最終的に戦争に舵を切る判断をする
が、首相や大統領は民意により選出さ
れる場合がほとんどである。従って、
民意を加味する必要がある。民間は国
の方向性を変えることができる。民間
の経済活動への影響と、民間の間
活動を通じてこそ、民意に大きな影響を
及ぼすことが、国民自身が認識し、無関
心から脱却し自分ごととして、はつき
りとした意思を